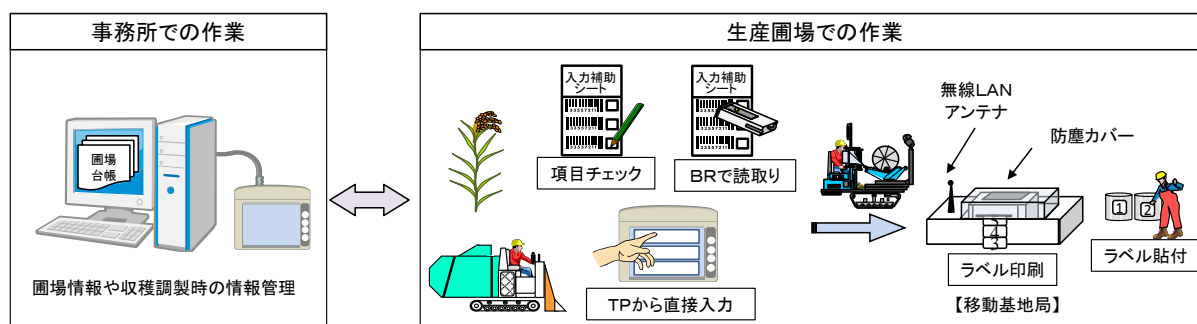


## フィールド端末機を用いた 「稲発酵粗飼料の生産履歴管理システム」

稲発酵粗飼料の本格的な研究と普及が始まって約 10 年が経過し、平成 25 年度には稲発酵粗飼料の作付面積は 26 千 ha を超えるまでに拡大しました。このような作付面積の拡大にともない、稲発酵粗飼料の流通範囲は、これまでのように地域内だけでなく、広域的な流通を推進することも必要になってきています。特に広域的な流通になると、耕種農家と畜産農家はお互いに「顔のみえない」関係での取引になってくることから、稲発酵粗飼料の安全と安心を担保し、耕種農家と畜産農家の良好な関係を維持するためには、稲発酵粗飼料の生産履歴を的確に管理し、その情報を畜産農家へ提示することが必要になってきます。そこで、簡易に生産履歴情報を収集・管理するシステムを開発しました。

### ☆ 技術の概要

1. 本システムはフィールド端末機としてタブレット型 PC (以下 TP) またはバーコードリーダー (以下 BR) と入力補助シート、移動基地局 (ラベルプリンター、無線 LAN アクセスポイント) から構成されています。
2. 本システムは、生産組織が保有する圃場の情報 (地番、圃場名等) をあらかじめ TP 転送しておき、収穫調製作業を始める前に熟期や圃場状態、雑草や病害虫の被害程度などの必要な項目 (情報) を TP に直接入力し (または、入力補助シートと BR で入力)、移動基地局のラベルプリンターに無線伝送してロールベールに貼付するための商品ラベルを発行します (図)。また、生産現場で取得した情報は圃場台帳と統合して管理することができます。本システムを導入することによって、履歴管理作業は従来の人力作業の約 1/3 以下に短縮できます。



機器構成: フィールド端末機 (TP: タブレット型 PC)、BR (バーコードリーダー)、移動基地局 (ラベルプリンター、無線 LAN アクセスポイント)  
注) ラッパの作業者の項目選択は、バーコードからの読取り、PC 画面からのタップ操作のどちらからでも行うことができる

### ☆ 活用面での留意点

1. 本システムの詳細な情報は以下の URL を参照してください  
<http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/introduction/chart/domain061/result.html>
2. 詳細については、畜産草地研究所・情報広報課 (電話: 029-838-8611、問い合わせフォーム <https://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/inquiry/tech.html>) にお問合せください。

(農研機構 畜産草地研究所 飼料作物研究領域 浦川修司)